

## お知らせ

平成 26 年 12 月 15 日  
井関農機株式会社

### 「2014 年 農林水産省研究成果 10 大トピックス」に 施肥量を大幅に削減できる「うね内部分施用機」が選定されました

12 月 10 日発表の「2014 年 農林水産省研究成果 10 大トピックス」に、独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター様と共同開発した「うね内部分施用機」が『施肥量を大幅に削減できる「うね内部分施用機」のラインナップが完成』として選定されましたので、お知らせいたします。

うね内部分施用機とは、露地野菜作のうね立て作業において、肥料を無駄なところに施用しないトラクタ用作業機です。今回、うね内部分施用機の 5 機種が市販化されラインナップが完成したこと、当製品の使用により肥料の施肥量が 30～50%削減できること等、低コスト・省力化技術と環境負荷低減技術として生産現場への普及が期待され、選定されました。

ISEKI グループは、今後も最新技術を用いた農業機械の開発・普及を通し、農業の発展に貢献してまいります。



うね内部分施用機  
エコうねませ君

農林水産省 「2014 年 農林水産省研究成果 10 大トピックス」の概要と詳細

[http://www.s.affrc.go.jp/docs/press/141210\\_2.htm](http://www.s.affrc.go.jp/docs/press/141210_2.htm)

以上